

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
栄養生理学		進士 ひとみ	講義	2	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	生命現象の維持のための栄養生理学を総合的に学ぶことにより、生体機能の保持・増進を理解し、栄養生理学の重要性を習得する。				
授 業 計 画					
回	項目	授 業 内 容			
1	栄養生理学とは	栄養生理学で何を学ぶか			
2	食物と感覚	味覚・嗅覚・視覚の神経生理学			
3	消化と吸収 (1)	咀嚼と唾液の生理的機能			
4	消化と吸収 (2)	消化管の運動 (胃・小腸・大腸)			
5	消化と吸収 (3)	消化液の分泌 (胃液、膵液、胆汁、腸液)			
6	消化と吸収 (4)	消化管の吸収 (中間消化と終末消化)			
7	消化と吸収 (5)	栄養素と消化管機能			
8	消化と吸収 (6)	運動と消化・吸収機能			
9	エネルギー代謝と栄養 (1)	エネルギー代謝の調節			
10	エネルギー代謝と栄養 (2)	基礎代謝量、安静時の代謝量、運動時の代謝量			
11	免疫と生命防御	栄養と免疫機能			
12	運動・スポーツと栄養 (1)	運動の免疫機能			
13	運動・スポーツと栄養 (2)	運動の生理的効果			
14	運動・スポーツと栄養 (3)	運動における栄養素の役割			
15	学期末試験				
参 考 書	特に指定しない				
学習上の注意 (自己学習、学外学習など)	授業内容を理解し、自発的に学習に取り組むこと。				
評価の方法と時期	出席 (20%)、授業態度 (10%)、授業準備状況 (20%)、定期試験 (50%) で評価する。				